

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号 II-1-

← 解答する問題番号（1 から 4）を点線の枠内に必ず記入すること。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(1) 特 徴														
比較と特徴として、以下の2点があげられる。														
1点目は、制度趣旨である。P－PFIは、公園管														
理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質向上等を														
図るため民間投資の誘導による整備を行う制度である														
一方、当該制度はまちなかウォーカブル区域の「居心														
地が良く歩きたくなるまちなか」形成のため、広場等														
の特定公園施設の整備を一体的に行う制度である。都														
市公園を新設するため事業は対象としていない。														
2点目は、選定方法である。P－PFIは、特定公														
園施設の整備を行う者を公募により選定する。一方、														
当該制度は、まちなかウォーカブル区域と公園施設の														
一体整備を行う事業者に限定し、都市再生整備計画案														
を公告・縦覧することとで選定手続きが完了する。														
(2) 活用により期待される効果														
① 都市環境の改善														
老朽化した都市公園を周辺施設と一体的にリノベ－														
ションすることとで、緑地面積の拡充が期待でき、ヒー														
トアイランド現象の緩和にも寄与できる①。														

① 事業者が緑地整備するとは限りませんし、収益施設ができるのですから減る可能性すらあります。

また、一体的な整備を理由としていますが、これを余韻として緑地が増えるわけでもなければ、ヒートアイランドが緩和するわけでもありません。要因と結果が合っていないと思います。公的負担の減少や、民間の創意工夫による公共サービスの向上といったように、一般的な官民連携の効果を書いてはどうでしょうか。

② 地 域 の 活 性 化

市 町 村 に よ る 街 路 拡 幅 に あ わ せ て 、 一 体 型 事 業 実 施 主 体 等 が 商 業 施 設 等 と 一 体 的 に 都 市 公 園 を 整 備 す る こ と で 、 緑 豊 かな オ ー プ ン ス ペ ー ス が 形 成 さ れ る ② 。 こ れ に よ り 地 域 住 民 の コ ミ ュ ニ テ ィ 活 動 の 場 が 提 供 さ れ 、 地 域 活 性 化 に も 貢 献 で き る 。 以 上

② リノベーションなので、もともとオープンスペースはあるのではありませんか。ここでは、滞在快適性等向上区域の効果を述べるべきでしょう。居心地がよくなり滞在時間増加、歩きたくなり外出機会の増加、多様な交流が増加、良好な景観形成などにより活性化といった論調で解答してはいかがでしょうか。